



8月8日～9日にかけて、公開講座「ウェルビーイングから考える人口減少時代の地域デザイン」を開講しました。千葉大学・金沢大学・町民の皆様ら16名が受講し、長柄町の特徴を生かした、今後の暮らしやすいまちづくりのためのサービスやプロジェクトを考案しました。

「ウェルビーイング（幸福感）」は、「身体的・精神的・社会的に良好な状態であること」を表す言葉です。このウェルビーイングを政策づくりのための目じるしとして利用できるようにしたのが「ウェルビーイング指標（または地域幸福度指標）」です。デジタル庁がデジタル田園都市の実現に向けて、全国調査や自治体データをもとに地域の暮らしやすさや幸福度を数値化し、ウェルビーイング指標としてウェブ上で公開しています。

ウェルビーイング指標は、各地の地方創生において活用され始めています。現在、長柄町をはじめとした小規模市町村ではデータが不足しています。今年度、私の属する研究チームが調査をおこない、データを補いたいと考えています。

